

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

今年のゴールデンウィークは、3年ぶりに移動制限がないということで、家族で外出された方々が多かったのではないのでしょうか。コロナ禍ではありますが、対策を講じてできることをしようという感じがある今日この頃ですね。

先日、5月8日（日）は、母の日でした。カレンダーの関係で1週間ほど早い感じがしていたので、危うく1週間遅れの「母の日」になるところでした。自分でさえもこんな感覚でいたので、当然、高校生の娘も「母の日」の存在を忘れていたろうと思っていました。

「母の日」当日も、小さい頃のように「お手伝いする！」とか「肩もんであげる！！」「お手伝い券プレゼント！」などということも、さすがになく、心なしかさみしい気持ちになっていました。夕飯の支度をしていても、特に動きはなく…(^_^;)

フルーツの盛り付けをしようとしていると、「それ、明日食べよう。母の日のケーキ買って来たから」と娘。「仕事の合間に癒されるように(^_^)」ということで、プレゼントまで用意してくれていました(*' ▽' *)

そんなことを考えるようになったのかと、親としては感慨深い思いでした。小さい頃に娘がプレゼントしてくれた「お手伝い券」は、もったいなくて未使用のまま十年以上冷蔵庫に貼ったまま「宝物」になってしまいましたが、そのうち、「まだ、この券は有効？」と聞いて使おうかと思っています。

そんな様々なドラマを生み、子どもの成長を感じる「母の日」ですが、日本生命保険相互会社は、5月6日に「母の日」に関するアンケート調査の結果を発表しました。

プレゼントを贈る人に「何を予定か」、プレゼントを贈られる人に「何をしてほしいか」への質問の回答は、どちらの質問でも1位は「生花・カーネーションを贈る」でした。時代を問わず、「母の日にカーネーション」は定着しているようです。

○日本生命保険相互会社による「母の日」に関するアンケート調査の結果はこちらから見られます。

<https://www.hokende.com/news/blog/entry/2021/05/09/140000>

ちなみに、「母の日」はいつから始まり、母の日にカーネーションを贈るようになったのはなぜなのでしょうか(・・? 興味のある方は、こちらから見られます。

○株式会社日比谷花壇

<https://www.hibiyakadan.com/mother/column/0009/>

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodate@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Facebook】<https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★